

一般質問通告表

平成22年第2回沖縄県議会(定例会)

06月30日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	仲宗根 悟(社民・護憲)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 基地問題に関して

- (1) 米軍普天間飛行場の名護市辺野古周辺への移設を盛り込んだ日米共同声明についてどのような対応で臨むのか伺う。
- (2) 菅首相は就任会見で、8月末までに名護市辺野古での建設場所や工法を決める方向性について「日程上の約束になっている」として、沖縄への理解を求めるとしているが、そのことについてどのように対応するか伺う。
- (3) 米軍普天間基地の辺野古周辺移設は、県民の理解が得られる状況にはないと考えるが、このまま理解が得られない場合どのような姿勢で臨むか伺う。
- (4) 対米交渉のやり直しを求めるべきと思うがどうか伺う。
- (5) 嘉手納飛行場への米空軍最新鋭のステルス戦闘機F22Aラプター機のたび重なる飛来の抗議にもかかわらず常駐化している。あわせて数多くの外来機の訓練飛来による爆音被害は増加するばかりである、米軍や政府に対しての県の対応を伺う。
- (6) 非人道的兵器として国際的に非難のあるクラスター爆弾を装着しての訓練も見られ、周辺住民は不安でおびえている、全面禁止条約の発効を目前にしている中での使用であり、県としての抗議や使用禁止を訴えるべきであると思うがどうか伺う。

2 雇用対策に関して

- (1) 雇用創出と雇用安定確保についての取り組み、課題について伺う。
- (2) 国際労働機関(ILO)により「ディーセント・ワーク」の実現に向けた取り組みが提唱されているが、国内において雇用環境が最も厳しい本県においては、積極的な取り組みが必要と考えるが、その状況について伺う。
- (3) ふるさと雇用再生事業特別基金の事業終了以降の継続雇用が見込まれる産業分野をどのようにとらえ、予算規模やどの程度の雇用創出を図るのか伺う。

3 観光振興に関して

- (1) 美しい海と豊かな自然、独特な歴史、文化の島、県別の人気観光地ランキングで本県は常に上位にランクされ、その位置を有意に活用し、本県のリーディング産業としての施策は最も重要です。この観光立県としての魅力形成についての施策を伺う。
- (2) 顧客ニーズにこたえる新たな魅力づくり、新たな観光資源の開発が求められています、沖縄の独自性を生かした方向性、取り組みについての基本的な考え方を伺う。

4 農林水産振興に関して

- (1) 亜熱帯気候等の地域特性を生かした農林水産業の振興を図ることから主要施策を掲げながら取り組みを展開しているが達成状況、問題点、課題について伺う。
- (2) 旧読谷飛行場跡地整備状況について
我がふるさと読谷村は「ユタサルフウシ マサルチムククル サチフクルハナヤ ガンジュウヌシマ」を村づくりの目標とし、環境と調和した持続可能な産業として農業の振興を村の大きな産業として推進しているところである。これまで読谷村において返還された軍用地跡地は地主と行政の協力のもと土地改良事業等により基盤整備が実施され、読谷村の農業振興に大きく寄与してきたところである。そこで、読谷村において長年の懸念であった旧読谷飛行場跡地は、平成18年度に国有地と村有地の交換が行われ跡地利用計画が策定されたところであるが、事業が決定した県営土地改良事業が黙認耕作者との訴訟問題で整備計画がおくれていると思われるが、今後の整備計画と現在の実施状況はどうなっているか。

5 環境行政に関して

- (1) 読谷村土地造成センターの安定型最終処分場跡地の経緯、状況を伺う。
- (2) 今後の対応についてどのように当たるのか伺う。
- (3) 県内安定型最終処分場の浸透水取水施設の設置指導を行っていますが、その進捗状況を伺う。

6 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成22年第2回沖縄県議会(定例会)

06月30日(水)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
2	17分	山内 末子(民主党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 基地問題について

- (1) 知事は、高江区で住民との意見交換を行ったがその感想を伺う。県は、基地問題において政府と県民の間に立ち県民の目線に対応すべきである。その意味でも県民の人権を踏みにじるような国による提訴を取り下げるよう要請すべきではないか。
- (2) 県議会軍特委で行った要請行動において、在日米軍関係者から「基地に県民が近づいている」という趣旨の発言があった。以前からこのような発言が続いているが、知事はこれらの発言は、在日米軍及び米国政府の公式見解なのか、その真意を確認し、事実であれば抗議をすべきであるが見解を伺う。
- (3) 嘉手納基地及び普天間基地周辺の住宅防音工事対象区域の80W、75W地区における告示の設定を平成22年まで引き上げるよう要請すべきであるがどうか。
- (4) 集落内防音エリアで分断されている区域の見直しを実現させるべきであるがどうか。
- (5) 政府による事業仕分けによって、住宅防音事業とその仲介を行う団体にメスが入った。これらによって県の影響はどうか。また、県民の生活を支えるという観点からこれらの住宅防音事業の窓口を県及び市町村に委託をすべきであると考えが見解を伺う。
- (6) 現在返還作業が行われている地域において、土壌汚染または有害物質が発見された場合、県内で処理する場所があるのか。

2 スポーツ振興について

- (1) 興南高校の優勝に県内が沸いたが、選手派遣費用について県はどのような対応をとったのか。
- (2) 県の代表チームが大会及び練習試合などで県外へ出る際の金銭的負担は父母らに重くのしかかっている。これらの派遣費用を幅広く県内外に募る必要があるが、県人材育成財団によって基金を創設し、その受け皿づくりの環境を整えるべきではないか。見解を伺う。

3 観光政策について

(1) 農家民泊について

- ア 県内での開業箇所について、過去3年の推移を伺う。
- イ 経済効果について伺う。
- ウ 老朽化した住宅を改築し、宿泊ニーズを高める努力をする際に、農家が支援を受けられる金融商品をつくるべきであるが見解を伺う。

(2) 県内の民宿について

- ア 県内の民宿への宿泊数の推移はどうか。過去5年間の推移を伺う。
- イ 民宿の評価を上げるための工夫をとるべきであるがどうか。
- ウ 老朽化した施設の改修などの補助を検討すべきではないか。

- (3) 中国からの観光客に対応する中国語ガイドは県内に何人いるか。また、それらのガイド養成に努める専門学校、教育機関は何校あるのか。県も力を注ぐべきではないか。見解を伺う。

4 子供の虐待未然防止のための対策について

- (1) 現在、市町村で行われている乳児家庭訪問事業の実績について伺う。
- (2) 24時間保育体制の実施の推進について伺う。

- (3) 医療機関における被虐待児の早期発見について伺う。
- 5 「沖縄待機児童対策スタディ・グループ」の提言内容について
 - (1) 認可外保育所の関係者からは今回どのような意見が出されていたのか。その意見への対応を伺う。
 - (2) 少人数での認可化促進が提言されているが、これに対する県の対応について伺う。

一般質問通告表

平成22年第2回沖縄県議会(定例会)

06月30日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	赤嶺 昇(改革の会)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 知事公約の達成状況を伺う。</p> <p>(2) 知事は、県民に約束した公約を果たしたと考えているかを伺う。</p> <p>(3) 11月の知事選挙の決意について伺う。</p> <p>(4) 来る参議院選挙で知事は、島尻氏の選対本部長に就任するようですが、それは知事選を意識してのことですか。</p> <p>(5) 参議院選挙で消費税増税の論議が活発化しているが増税された場合、特に本県への影響は大きいと思うが知事の認識を伺う。</p> <p>(6) 日米合意について知事の認識を伺う。</p> <p>(7) 知事は、普天間基地問題の対応を今後どうされるのかを伺う。</p> <p>(8) 米軍基地負担でこれまで「あめとむち」という表現がされてきたが、これまでに沖縄県は、「あめ」をもらったという認識があるのかを伺う。</p> <p>(9) 本県の財政状況について知事の認識を伺う。</p> <p>(10) 天下一について知事の認識を伺う。</p> <p>(11) 不適正経理問題について知事の認識を伺う。</p> <p>(12) 県内自殺者が増加していることに対して知事の見解を伺う。</p> <p>(13) 改正貸金業法について知事の見解を伺う。</p> <p>2 福祉行政について</p> <p>(1) 児童虐待問題について喫緊の状況と対策を伺う。</p> <p>(2) 県内保育所等での事故状況を伺う。</p> <p>(3) 知事公約である認可外保育施設への給食費助成は11円だけで済ませるおつもりですか。</p> <p>(4) 沖縄待機児童対策スタディ・グループの提言に伴う予算について伺う。</p> <p>(5) 知事公約の保育所待機児童ゼロの実績を伺う。</p> <p>3 医療行政について</p> <p>(1) 県立病院の現状と課題を伺う。</p> <p>4 観光商工行政について</p> <p>(1) 観光部門を観光部もしくは観光局として単独で設置すべきであると思うが見解を伺う。</p> <p>(2) 中国やアジア近隣諸国市場への経済戦略を伺う。</p> <p>(3) 外国人観光客誘客への戦略を伺う。</p> <p>(4) 観光商工部として美ら島沖縄総体2010を活用した戦略を伺う。</p> <p>5 土木建築・交通政策・環境行政について</p> <p>(1) 土木建築・交通政策・環境を一体的にとらえた施策について県の認識を伺う。</p> <p>(2) 総合評価方式の課題と対策を伺う。</p> <p>(3) 国関係発注工事・米軍工事の発注(ポンド)に対する県の対応策を伺う。</p> <p>(4) エコカー、電気自動車等の普及推進に向けた取り組みを伺う。</p>			

- (5) 沖縄県全体をエコサイクリングロードにする施策について伺う。
 - (6) モノレール延伸の進捗状況を伺う。
- 6 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成22年第2回沖縄県議会(定例会)

06月30日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	平良 昭一(改革の会)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 基地問題について

- ア 直接米政府に対し沖縄の過重な基地負担の軽減を求めていくとの考えで訪米したいとの意向だったが、どうなるのか。
- イ 知事は、15日に菅新首相と面談したが、その内容はどのようなものか。
- ウ 普天間の代替施設が辺野古には極めて難しいとの発言を繰り返しているが、その発言と公有水面埋立の許可に対する知事の所見を伺う。

(2) 知事公約について

- ア 任期最後の年であり、以前の答弁で、公約のほとんどに着手することができたとのこと。公約は実現できたのか伺う。

2 北部活性化振興事業について

(1) 北部振興策の総括について

- ア 過去10年間の北部各市町村の投資割合を示してほしい。
- イ 沖縄本島内において過疎地域指定を受けているのは北部の4町村のみ。基地とリンクしないのであれば、過疎地域脱却を目指す振興政策でなければならない。この4町村及び3離島村に徹底した北部活性化振興事業を導入すべきであると思うがどうか。

3 土木建築行政について

(1) 総合評価方式について

- ア 実績評価以外の地域制単位の点数を考慮できないか。
- イ 国発注のダム工事は地域制に配慮していると聞く。県も指名競争入札に地域制を導入できないか。

4 松くい虫対策について

(1) 予防対策の方法について

- ア 県は、樹幹注入と薬剤散布を行う方法のみの防除方法しか持ち合せていないが、その成果はどうなっているか。
- イ その他の方法についての予防対策はないか。

5 「山羊サミット」について

- (1) 10月に開催の「山羊サミット」の概要について聞きたい。
- (2) ヤギ農家に対する口蹄疫対策はどうなっているか。特別な対応策などはないか。

6 海岸漂着ごみについて

- (1) 多種多様な漂着ごみの処分に離島地域は苦悩している。処分にも経費がかかり、財政圧迫につながっている。県が何らかの対応策が必要だが、どう思うか。

7 港湾行政について

(1) 本部港の整備について

- ア 本部港観光振興協議会の答申が出たようだが、県の考え方を伺う。

(2) 船舶航路の問題について

- ア 伊江島、水納島、本部沖合の狭い海域に集中して船が航行している状況があり、大変

危険な状態である。その対策方を聞きたい。

8 警察行政について

- (1) 県警察本部において、各警察署の管轄区域を超えた県内全域のパトロールを行う組織である自動車警ら隊の活動と配置について伺う。

9 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成22年第2回沖縄県議会(定例会)

06月30日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	當間 盛夫(改革の会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 基地問題について</p> <p>ア 基地問題公約実現と普天間基地早期閉鎖に向けての解決策を伺う。</p> <p>イ 辺野古代替地の日米合意は知事の承認がかぎであり、早期の決断をすることが次へのステップになるが見解を伺う。</p> <p>(2) 雇用問題について</p> <p>ア 公約実現は「極めて厳しい」状況にあるが、対策を伺う。</p> <p>イ 雇用対策はかけ声だけではなく当然に「強い経済」をつくることが重要であるが、景気、経済対策を伺う。</p> <p>(3) 東シナ海ガス田開発について</p> <p>ア 条約締結交渉を早期に開始することで一致、東シナ海を友好の海にしていきたいとのこと、県の果たす役割は何か伺う。</p> <p>イ 尖閣諸島の視察は行われていないが、今後の予定はあるのか。</p> <p>ウ 今後の新エネルギー政策の展望と課題を伺う。</p> <p>(4) 「新成長戦略」をどのようにとらえ施策に反映していくのか伺う。</p> <p>2 ポスト振興計画について</p> <p>(1) 総合事務局との統合や一括交付金など沖縄が「総合特区」モデルになるチャンスと考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 那覇空港について</p> <p>ア 平行滑走路の着工時期と進捗状況を伺う。</p> <p>イ 国際旅客ターミナル改築の見通しと課題を伺う。</p> <p>ウ 国際路線の着陸・施設利用料軽減について伺う。</p> <p>(3) 産業物流軽減対策について</p> <p>ア 国際物流貨物ターミナルでの県内取扱量と対策について伺う。</p> <p>イ ユニバーサルサービスとしての視点で物流コスト軽減を行うことが重要と考えるが、対策と課題を伺う。</p> <p>ウ 酒税軽減措置の再延長について対策と課題を伺う。</p> <p>(4) 離島振興について</p> <p>ア 離島の新造船への対応と今後の計画を伺う。</p> <p>イ 南部離島町村学生宿舎(学生寮)整備について伺う。</p> <p>(5) 鉄軌道導入について</p> <p>ア 知事の鉄軌道への認識と意気込みを伺う。</p> <p>イ 国も調査費を計上しているが、今後の国と県の連携を伺う。</p> <p>(6) 金融特区の現状と課題について伺う。</p> <p>(7) 観光政策について</p> <p>ア 新成長戦略でも観光を重点項目としている。観光庁との連携強化について伺う。</p>			

- イ 「スポーツ観光」「医療観光」の認識と取り組みを伺う。
 - ウ 海外観光客誘致について、特に台湾、中国への対策と課題を伺う。
- 3 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成22年第2回沖縄県議会(定例会)

06月30日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	吉田 勝廣(無所属)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 沖縄振興特別措置法等について</p> <p>(1) 知事はこの法律をどう評価し、今後同法のあるべき姿をどのように考えているか伺う。</p> <p>(2) 私はこれまで、各部ごとに高率補助によるかさ上げ額は幾らか具体的に明示を求めてきたが、県はまとめていないとの回答であったが、この問いは今後の振興計画及び新たな法制定に向けても重要である。同時にその効果を分析し、かさ上げ額と地方交付税との関係も分析する必要がある。したがって、再度各部のかさ上げ額を明らかにし、今後の方向性を伺う。</p> <p>(3) 酒税法など個別に免税措置の額を明らかにし、その経済効果を伺う。</p> <p>(4) 沖縄振興開発金融公庫について</p> <p>ア その役割と実績を伺う。</p> <p>イ 貸付金利の本土の公庫との差を伺う。</p> <p>ウ 貸付条件の有利性を伺う。</p> <p>(5) 平成14年に沖振法に新たに跡地利用対策の条文が明文化されたが、その役割と実績及び方向性について伺う。</p> <p>(6) 大学院大学の開学の見通しと地域経済及び教育環境に及ぼす影響について伺う。</p> <p>(7) この法律の実績を5つ挙げるとすれば何か。</p> <p>(8) また、この法律の課題を5つ挙げるとすれば何か。</p> <p>(9) この法律を継続、または新たな法の制定が必要ならば、どのような骨子、項目になるのか伺う(現時点で)。</p> <p>2 行政投資について</p> <p>(1) この5年間の行政投資と類似県との比較はどうなっているか。</p> <p>(2) 生活基盤投資、産業基盤投資、農業基盤投資、国土基盤投資はどうなっているか。</p> <p>3 受益率について</p> <p>(1) この5年間の受益率と類似県との比較はどうなっているか。</p> <p>4 沖縄の固有課題である離島振興について</p> <p>(1) 伊是名、伊平屋、渡嘉敷村など財政は危機状況にある。財政指標を明らかにし、その原因を問う。</p> <p>(2) 教育・保健・医療・交通・情報通信・水・下水道・農業用水・ごみ廃棄物・火葬場など生活基盤の充実が望まれるが、沖振法・離島振興法・地方交付税など、有効な支援策が構築されているか。また、本島の市町村と違いはあるか、本土離島より優遇措置はとられているか伺う。</p> <p>(3) 離島振興こそ、県、国が優先的に一括交付金を導入する必要があると考えるがどうか。</p> <p>5 基地問題について</p> <p>(1) 県は米軍再編の際、千載一遇のチャンスだと賛成、グアム協定に対しても賛成したが、今日、米軍再編に対する知事の見解を伺う。</p> <p>(2) CH46ヘリが松田海岸に不時着したが、県は調査をしたか結果を伺う。</p> <p>(3) 在沖米軍の抑止力とは何か伺う。</p>			

6 農林水産業の振興について

- (1) 海ブドウの生産者協議会が発足したが、海ブドウのブランドの確立と生産供給体制の強化をどのように推進するのか伺う。
- (2) 台風に強い農業の確立と生産性向上のためにも平張ハウス等の建設が必要である。これまでの取り組みと今後の施策について伺う。
- (3) 農林水産業と観光産業及び産学官農の連携は重要であると考えているが県の取り組みと施策について伺う。

7 飲酒運転根絶について

- (1) 飲酒運転の現況はどうなっているか。
- (2) 飲酒運転に占めるアルコール依存症の割合はどうなっているか。
- (3) アルコール依存症の飲酒運転を根絶するために、医学的、科学的見地から調査・研究する必要があると考えるが県警の見解を伺う。

8 億首川について

- (1) 県はこれまでマングローブ、河川周辺の生物調査及び環境調査を実施したことがあるか伺う。

一般質問通告表

平成22年第2回沖縄県議会(定例会)

06月30日(水)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
7	17分	中川 京貴(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 米軍基地問題について</p> <p>(1) 嘉手納基地から発生する航空機騒音被害について</p> <p>(2) 日米地位協定見直しの進捗状況について</p> <p>ア 新政権になり米国に対し、日米地位協定見直しを求めた経緯があるか。</p> <p>(3) 米軍の制限水域及び空域により、離島県である本県は支障を来している状況にあるのではないか。</p> <p>(4) 沖縄県を基地所在地町村都道府県として、国に認めさせることができないか。</p> <p>2 防音工事について</p> <p>(1) 告示日の撤廃または告示後に建てられた建物の件数は。</p> <p>(2) 新築防音工事について</p> <p>(3) 店舗、事務所等の防音工事について</p> <p>(4) 政府による仕分け作業により、整備協会に対する影響は。</p> <p>(5) 国の買い上げた土地の有効利用について</p> <p>3 行財政改革について</p> <p>(1) 沖縄の21世紀ビジョンについて</p> <p>(2) 平成22年度沖縄関係予算について</p> <p>(3) 本県の基地関係交付金の総額について</p> <p>(4) 新たな税収財源の取り組みについて</p> <p>4 観光振興について</p> <p>(1) 沖縄県の観光関連の総採算は。</p> <p>(2) 沖縄県の観光関連の予算は。</p> <p>(3) 県内の観光状況と課題は。</p> <p>5 福祉保健部関連について</p> <p>(1) 本県の子育て支援対策の状況と、今後の対策についてお伺いしたい。</p> <p>(2) 小学校1年の(7才未満)医療費の無料化について</p> <p>(3) 沖縄県の子育て支援の現物支給制度について(全国の取り組みは)</p> <p>6 農業関連について</p> <p>(1) 農業関連の沖縄県の予算は。</p> <p>(2) 沖縄県の農家数・農業総生産・経費を引いた農家所得・農家一戸当たりの平均年収は。</p> <p>(3) 農地の遊休地について</p> <p>7 口蹄疫の防疫対策について</p> <p>(1) 沖縄県の取り組みについて</p> <p>ア 発生県外においても口蹄疫の蔓延を未然に防ぐため、初動防疫を初め、あらゆる必要な防疫対策を要請すべきではないか。</p> <p>イ 発生地域以外における家畜市場の中止または再開等については、開設者の判断を支援するよう、国による指導を図るとともに、責任とその対応について伺いたい。</p>			

- ウ 競りの延期等に伴い施設の収容能力を超え、緊急的に簡易施設を設置する場合、建設費用の全額補助すること。また、建設の場合、農地法などの許認可の規制緩和も緊急避難的に認めること。
- エ 移動舗限のため出荷できない牛・豚・ヤギに係る飼料代の全額捕てんについて
- オ 競りの延期等に伴い経営継続に支障が生じないよう、無利子の運転資金融資を行い、現在の融資枠を上積みと手続の簡素化について
- カ 県内競り市場中止に伴い、市場開設者の運営支援について
- キ 肉用牛12ヶ月子牛の特例措置を設けて月齢等の要件を緩和すること。
- ク 口蹄疫の侵入防止策のため、家畜の県外出荷や飼料などの購入先等新たな輸送ルートの開拓とそれに伴う輸送コスト上昇分に対しての助成措置について
- ケ 競り市場を延期、中止した関係機関・団体が要した経費について十分な予算措置ができないか。
- コ 金融支援措置に生活支援等の資金使途も認めることができないか。
- サ 口蹄疫被害の影響により闘牛大会にも影響を及ぼしているが、闘牛の家畜としての県の認職を伺いたい。

8 我が党との代表質問との関連について

一般質問通告表

平成22年第2回沖縄県議会(定例会)

06月30日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	前島 明男(公明県民会議)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 県政運営について

(1) 今後の財政収支の見通しについて

- ア 現在の不況がそのまま続くとすれば、5年後、10年後収支バランスはどう推計されるか。
- イ 不足する分は基金取り崩しか、公債、県債発行しかないと思うが、5年後、10年後の残高は幾らになるのか。
- ウ 抜本的な改革には何が最も必要と考えるか。

(2) 県政における事業仕分けはどうなっているか。

- ア 行っているのかいないのか、また、今後どうする考えなのか伺いたい。
- イ 国の事業仕分けによる影響はどうなっているか。

(3) 県内における経済不況をどうとらえ、どう打開する考えか伺いたい。

2 米軍基地問題について

(1) 米軍人、軍属による事件・事故について

- ア 近年、事件・事故がふえているように思うが、直近5年間の状況はどうなっているか。
- イ 事件・事故の補償状況はどうなっているか。未解決事件はないか。
- ウ 県議会も事件・事故によっては、その都度米軍関係当局に申し入れを行っているが、一向に効果が上がっていない。なぜだと考えるか。抜本的な対策は何か。

(2) 地位協定の見直しについて

- ア ドイツや韓国の地位協定との大きな違いは何か。
- イ 日本政府を頼ってはいつまでたっても実現できないので、アメリカの世論を喚起するために、再度アメリカのマスメディアを活用する考えはないか。

(3) 米軍が発注する軍工事について

- ア 県は、発注状況や実態を掌握しているか。
- イ だれでもできるような単純な工事を、本土の業者がレンタカーを乗りつけて入札に来る状況をどう思うか。

3 福祉、医療行政について

(1) 福祉について

- ア 在宅介護の状況はどうなっているか。また、助成はどうなっているか。
- イ がん条例の制定について、本県の考え方と他府県の制定状況を伺いたい。

(2) 医療について

- ア ドクターヘリやドクターカー救急車など、あらゆる交通手段を使って医師が現場に駆けつけ、治療行為を行う「15分ルール」が確立できないか。
- イ ドクターヘリは現在の1機で十分か、もう1機必要と考えるがどうか。
- ウ 本来、ドクターヘリ事業は県自体が行うべきであるが、MESHサポートセンターが民間から支援金を募り、大変な苦勞を強いられながら実施している。県は助成をすべきだと考えるがどうか。
- エ 産婦人科や精神科等の医師不足解消と対策はどうなっているか。
- オ 国頭村安田診療所の問題について、県の対応を伺う。

4 農林水産行政について

(1) 農業について

- ア 本県の食料自給率は幾らか。
- イ 自給率向上をどのように図っているか。
- ウ 放棄地対策はどうなっているか。

(2) 水産業について

- ア つくる漁業の現状と対策はどうなっているか。
- イ マグロ漁業者は、今後厳しい状況になってくると思われるが、その支援策を考えているか。
- ウ 漁礁の設置状況はどうなっているか。また、資源リサイクルの面から、廃タイヤを漁礁として利用する考えはないか。

5 観光行政について

- (1) 県内における観光資源の開発はどのような状況か。
- (2) 今後1000万人の観光客を受け入れることを考えれば、読谷村から恩納村に至る西海岸一帯の観光資源を有効に活用する意味でも、面的な整備が必要と考えるがどうか。
- (3) 開発には時間がかかるので、その間相互の往来を活発にするために、航空券を持った観光客であればいつでもどこでも乗れる低床、低賃バスを県が補助をして運行させてはどうか。
- (4) 若狭海岸の大型クルーザー専用バースから若狭大通りの交差点までの間、歩道の整備が進められているが、完成予定はいつか。また、ストリートファニチャーを設置したり、木陰を設ける等、観光客がいやされるような通りにしてはどうか。

6 我が会派の代表質問との関連について